

アジアの伝統芸能 第14回

伝統芸能を学ぶ意義とは

フォービアン・パワーズを例に



異文化としての伝統芸能を

学ぶ意義とは？

異文化としての伝統芸能を学ぶ意義とは何なのか。

今回の授業では、戦後、占領下の日本で歌舞伎の復興に尽力し、日米間の演劇交流の架け橋となったフォービアン・バワーズを例に、異文化としての伝統芸能を学ぶ意義について考えてみたい。



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 一九一七～一九九)

米国オクラホマ州の生まれ。名門
ジュリアード音楽院を卒業後、アジ
アへの遊学途中に立ち寄った日本で
歌舞伎に魅せられ、一九四〇年から
一年間、日本に滞在。大学で英語教
師をしながら、歌舞伎の舞台に通い
続けた。



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 一九一七～一九九)

日米関係の悪化により帰国するが、終戦後まもなく、GHQの通訳官として再来日。

占領政策により歌舞伎の演目の多くが禁演になると、GHQの検閲機関であるCCD(民間検閲局)に移り、全演目の解禁を実現して「歌舞伎を救ったアメリカ人」と呼ばれた。



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

目次

第一節 歌舞伎との出会い

名門ジュリアード音楽院を卒業し、アジアへの遊学に向かったバワーズは、日本で歌舞伎と出会う

第二節 「寺子屋」事件

GHQは日本の封建思想を一掃するため、「寺子屋」を始めとする歌舞伎の上演を事実上禁止する

第三節 歌舞伎を守るために

バワーズはGHQの検閲機関であるCCD（民間検閲局）に移り、歌舞伎の解禁のため奔走する

第四節 アジアの芸能を学ぶ意義とは

第一節

歌舞伎との出会い

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せれ、?? 大学で英語の教員をしながら、日本語を学ぶ

バワーズは、日本滞在中、ある大学で英語の教鞭を執っていたが、その大学とは？

①東京音楽学校(東京芸大の前身)

②東京高等音楽学院(国立音大の前

進)

③法政大学



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)



戦前の法政大学市ヶ谷キャンパス



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

?

バワーズは、ある場所に入り浸って日本語を学んだというが、それどこか？

歌舞伎で日本語を学ぶ

フォービアン・バワーズ回想録

(コロンビア大学オーラルヒストリー研究所一九六〇年)

「日本語を学ぶのが大して苦にならなかったのは……毎日、劇場に通ったからです。……私は好きな芝居を繰り返し見ました。毎晩、毎晩、そうしていると、言葉は体にしみ込むものです。……あらゆる芝居を見ました。その中で一番魅了されたのが歌舞伎でした。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)



パウーズが歌舞伎と出会った歌舞伎座
(関東大震災後の1925年に再建されたもの)

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せられ、法政大学で英語の教員をしながら、日本語を学ぶ
1941年	24歳	3月、日米間の緊張が高まったため、日本を離れ、当初の目的地であったインドネシアへ
		9月、米国へ帰国、徴兵され日本語の翻訳・通訳官に
		12月、真珠湾攻撃により、太平洋戦争開始

戦争前夜の緊張の高まり

フォービアン・バワーズ回想録

(コロンビア大学オーラルヒストリー研究所一九六〇年)

「たとえば、私が日本の友達と夕食を一緒にしたとしますよね。私が帰宅して何日かすると、下宿にその友人の両親から電話がかかってくるんです。息子がどこにいるか知りませんかって。彼は拘束され、尋問を受けていたんですよ。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

第二節

「寺子屋」事件

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せられ、法政大学で英語の教員をしながら、日本語を学ぶ
1941年	24歳	3月、日米間の緊張が高まったため、日本を離れ、当初の目的地であったインドネシアへ
		9月、米国へ帰国、徴兵され日本語の翻訳・通訳官に
		12月、真珠湾攻撃により、太平洋戦争開始
1945年	28歳	終戦後まもなく、進駐軍の通訳官として再来日。



対連合軍陸軍連絡委員長有末精三陸軍中將（左）とCharles Tench米軍大佐（中央）
の通訳をするFaubion Bowers少佐（右） 1945年8月28日厚木にて



A portrait of Faubion Bowers, an elderly man with grey hair and a mustache, wearing a grey suit jacket, a light blue striped shirt, and a red tie. He is seated and looking slightly to the right of the camera. The background is dark and out of focus, showing some indistinct shapes and colors.

Faubion Bowers Interview American Occupation of Japan,
Voices of the Key Participants

市村羽左衛門(十五代目)

〔解説〕

バワーズがファンだったという市村羽左衛門は、東京生まれの歌舞伎役者。本名は市村録太郎。十四代目羽左衛門の養子となり、すぐれた風姿で人気を博し、日本俳優協会会長などを務めた。

終戦の三か月前に七〇歳で亡くなっていたため、バワーズは会うことはできなかった。



市村羽左衛門(十五代目 1874-1945)

フォービアン・バワーズ

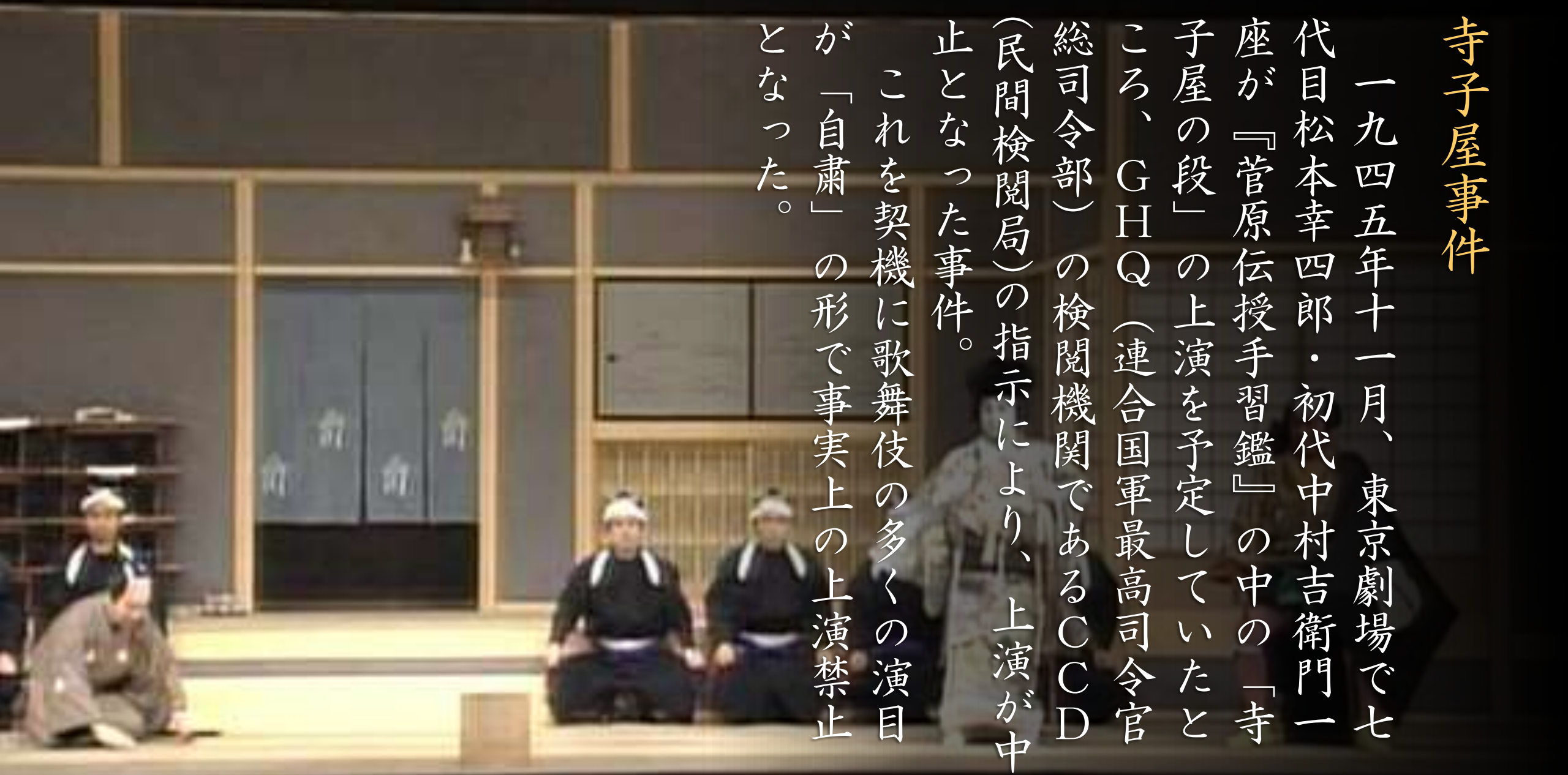
(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せられ、法政大学で英語の教員をしながら、日本語を学ぶ
1941年	24歳	3月、日米間の緊張が高まったため、日本を離れ、当初の目的地であったインドネシアへ
		9月、米国へ帰国、徴兵され日本語の翻訳・通訳官に
		12月、真珠湾攻撃により、太平洋戦争開始
1945年	28歳	終戦後まもなく、進駐軍の通訳官として再来日。
		GHQ、歌舞伎の上演“自粛”を指示（寺子屋事件*）

寺子屋事件

一九四五年十一月、東京劇場で七代目松本幸四郎・初代中村吉衛門一座が『菅原伝授手習鑑』の中の「寺子屋の段」の上演を予定していたところ、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の検閲機関であるCCD（民間検閲局）の指示により、上演が中止となった事件。

これを契機に歌舞伎の多くの演目が「自粛」の形で事実上の上演禁止となった。



浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』とは？

浄瑠璃時代物の三大傑作の一つとされる名作。全五段。竹田出雲・並木千柳・三好松洛・竹田小出雲の合作。

藤原時平の讒言で流罪となった菅原道真が、のち雷神となって時平を殺し、北野天神にまつられたという伝説を脚色したもの。

延享三年（一七四六）、大坂竹本座が人形浄瑠璃として初演。のち歌舞伎でも上演されるようになった義太夫狂言。



浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』の梗概

大序 大内の段

ときは平安時代。唐の皇帝から日本
の天皇の絵姿を描くようにと命を
受けた一人の僧が来朝する。

朝廷では、皇位篡奪をたくらむ左
大臣・藤原時平(しへい)が、病の床に
あった醍醐天皇(御門)に代わり、唐の
使者に自らの絵姿を描かせようとする。

しかし、右大臣・菅原道真(菅丞相)
の進言により、御門は弟の斎世親王
(ときよしんのう)を名代に立てる。



浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』の梗概

加茂堤の段

菅丞相の下屋敷の番人である四郎九郎（しろくろう）には、梅王丸、松王丸、桜丸という三つ子の息子がいた。三人はそれぞれ舎人*として、梅王丸は菅丞相に、松王丸は藤原時平に、桜丸は斎世親王に仕えていた。

*舎人：とねり、貴人の警護や雑用に当てる従者



浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』の梗概

加茂堤の段

桜丸とその妻・八重は、斎世親王が御門の病氣平癒を祈願するため加茂神社を訪れた際、親王と恋仲であつた管丞相の養女・苅屋姫との密会を手引きする。

ところが、そこへ藤原時平の家臣・三善清行(きよつら)が現れる。

清行に密会の現場を押さえられた斎世親王と苅屋姫は、書き置きを残して駆け落ちする。



浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』の梗概

築地の段

斎世親王と苅屋姫が駆け落ちしたことを知った藤原時平は、「菅丞相は養女を親王の后にして帝位篡奪を企てている」と讒言する。

菅丞相が閉門蟄居を命じられると、菅丞相の元家臣・武部源蔵は、梅王丸とともに菅丞相の息子・菅秀才を救い出す。



浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』の梗概

車曳の段

菅丞相が筑紫へ流された後、吉田神社の前で、菅丞相の舎人・梅王丸と斎世親王の舎人・桜丸が再会する。そこへ藤原時平を乗せた牛車を通りかかる。二人は恨みを晴らそうと、牛車の前に立ち塞がり、時平の舎人・松王丸と対峙する。ところが二人は、牛車を蹴破って姿を現した時平の威勢に、射竦められてしまう。



歌川豊国（三代）画「大芝居繁栄之図」
（安政6年（1859）刊）



歌川豊国 (三代) 画「大芝居繁栄之図」 (安政6年 (1859) 刊)





歌舞伎「菅原伝授手習鑑」より「車引の段」

浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』の梗概

桜丸切腹の段

松王丸、梅王丸、桜丸の三兄弟は、父・四郎九郎の喜寿を祝うため家に集まるが、四郎九郎は松王丸と梅王丸の二人を家から追い出してしまう。一人残った桜丸は、斎世親王と薊屋姫の密会を取り持ったために、管丞相が流罪になる原因を作ってしまったことに責任を感じ、父と妻の前で切腹し、息絶える。



浄瑠璃『菅原伝授手習鑑』の梗概

寺子屋の段

管丞相

右大臣 菅原道真



管秀才



武部源蔵

時平公

左大臣 藤原時平



松王丸



春藤玄蕃



管丞相が大宰府に流された後、管家の元家臣・武部源蔵は、田舎で寺子屋を営みながら管丞相の一子・管秀才を匿っていた。ある日、一人の夫人が源蔵の寺子屋を訪ね、小太郎という子供を寺子屋に入門させる。



菅秀才が源蔵の寺子屋に匿れていることを知った藤原時平は、菅丞相の血筋を絶やそうと、舎人の松王丸と家臣の春藤玄蕃(しゅんどうげんば)を派遣し、武部源蔵に菅秀才の首を差し出すよう迫る。



菅秀才を守るには身代わりを立てるしかない。選ばれたのは入門したばかりの小太郎だった。主君のためとはいえ、教え子を犠牲にせねばならない悲しみに、源蔵は「せまじきものは宮仕え」と涙する。





前進座公演 菅原伝授手習鑑 寺子屋の段
松王丸（嵐圭史） 武部源蔵（中村梅雀）



人形浄瑠璃「菅原伝授手習鑑 寺子屋の段」(1989年4月)

義太夫(竹本源大夫・人間国宝 2014年引退) 三味線(鶴澤燕三)

武部源蔵(吉田文雀) 女房戸波(吉田簞助)





人形浄瑠璃「菅原伝授手習鑑 寺子屋の段」(1989年4月)

義太夫(竹本源大夫・人間国宝 2014年引退) 三味線(鶴澤燕三)

武部源蔵(吉田文雀) 女房戸波(吉田簞助)



松王丸(左)と春藤玄蕃(右)は、捕り手百人を引き連れて源蔵の寺子屋を取り囲む。寺子屋に子供を通わせる村人たちの願いにより、菅秀才を知る松王丸が、子供たちの顔を検分し、親たちに引き渡していく。



子供たちが去った後、松王丸は寺子屋にある机の数が子供の数と合わないといい、源蔵に菅秀才の首を差し出すよう迫る。源蔵はやむなく菅秀才の身代わりに小太郎の首を打つ。



松王丸が菅秀才の首を検分する。源蔵は松王丸と斬り違えようと刀に手をかける。ところが菅秀才の顔を知るはずの松王丸は首桶の中の首を見てこう叫ぶ。「若君に、菅秀才に相違ない。でかした源蔵！」





前進座公演 菅原伝授手習鑑 寺子屋の段
松王丸（嵐圭史） 武部源蔵（中村梅雀）



人形浄瑠璃「菅原伝授手習鑑 寺子屋の段」(1989年4月)

義太夫(竹本源大夫・人間国宝 2014年引退) 三味線(鶴澤燕三)

武部源蔵(吉田文雀) 女房戸波(吉田簞助)

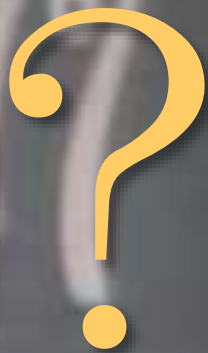


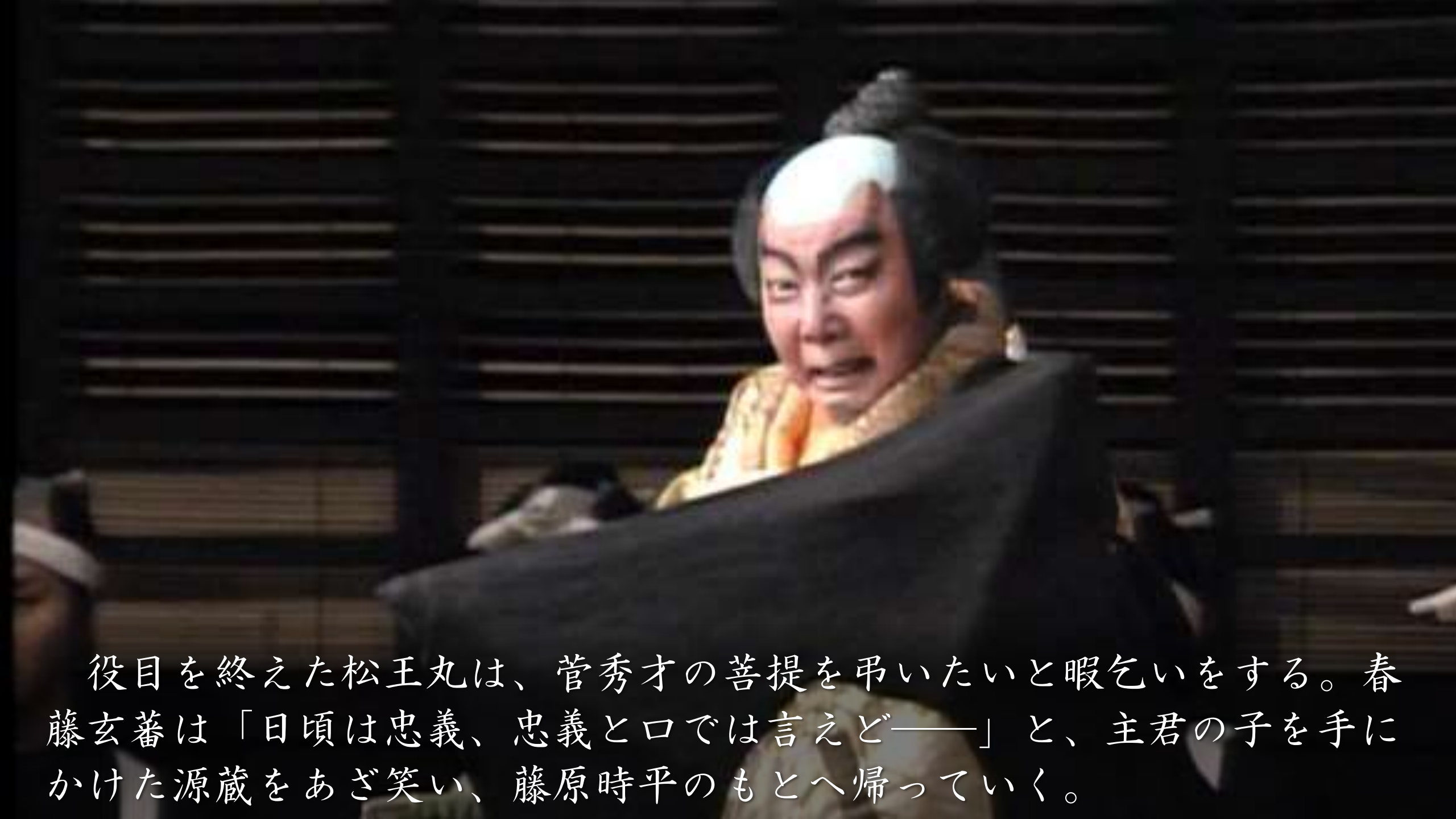


文楽 菅原伝授手習鑑 寺子屋
義太夫（竹本織大夫） 三味線（鶴沢燕三）

松王丸は菅秀才の顔を知っていたはずなのに、なぜ小太郎の首を見て「菅秀才に相違ない」と言ったのか？（正解は後で）

- ① 菅原道真の霊が奇跡を起したから
- ② 菅秀才と小太郎は双子だったから
- ③ 小太郎は松王丸の子だったから





役目を終えた松王丸は、菅秀才の菩提を弔いたいと暇乞いをする。春藤玄蕃は「日頃は忠義、忠義と口では言えど——」と、主君の子を手にかけた源蔵をあざ笑い、藤原時平のもとへ帰っていく。



小太郎を身代わりとすることで、なんとか菅秀才を救うことができた源蔵。ところが、そこに小太郎の母親が訪ねてくる。事が露見することを恐れた源蔵は、小太郎の母親に斬りかかるが――



斬りかかる源蔵に、小太郎の母親が叫ぶ。「若君、菅秀才のお身代わり、お役に立ててくださったか」思わぬ言葉に呆然とする源蔵。そこへ松王丸が現れ、意外な真相が明らかにされる。



菅秀才の身代わりになった小太郎は、実は松王丸の子だった。藤原時平に仕える松王丸は、主君への忠義と菅丞相の御恩の板ばさみとなり、菅秀才に似たわが子をわざと源蔵の寺子屋に入れたのだった。



源蔵から小太郎の最期のようなすを聞く松王丸。菅秀才の身代わりとなった子・小太郎。政争の中で無念の死をとげた弟・桜丸。二人の肉親を失った悲しみに、松王丸は人前も憚らず慟哭する。





前進座公演 菅原伝授手習鑑 寺子屋の段

松王丸（嵐圭史） 武部源蔵（中村梅雀）

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せられ、法政大学で英語の教員をしながら、日本語を学ぶ
1941年	24歳	3月、日米間の緊張が高まったため、日本を離れ、当初の目的地であったインドネシアへ
		9月、米国へ帰国、徴兵され日本語の翻訳・通訳官に
		12月、真珠湾攻撃により、太平洋戦争開始
1945年	28歳	終戦後まもなく、進駐軍の通訳官として再来日。
		GHQ、歌舞伎の上演“自粛”を指示（寺子屋事件*）

歌舞伎は現代的世界と相容れない

G H Q 映画演劇取締規則第一号

「封建主義に基礎を置く忠誠、仇討ちを扱った歌舞伎劇は、現代的世界には相容れない。反逆、殺人、詐欺等が公衆の面前で正当化され、個人的復讐が法律にとって代わる事が許される限り、日本国民は現代世界の国際関係を支配する行動の根源を理解する事は出来ないであろう。」





「寺子屋」は封建主義を鼓吹
するだけの芝居だったのか？

サンタ・ラマ＝ラウ

〔解説〕

一九二三年、南インドのマドラスに生まれる。六歳から十六歳までを英国で過ごした後、米国のウェルズ・エー大学を卒業。

四七年、インドの初代駐日大使となった父・ベネガルとともに来日。中国、東南アジアを経て帰国するまでの見聞を、五〇年、『アジアの目覚め』として出版した。

バワーズの紹介で、日本の歌舞伎界とも交流のあった彼女は、同書の中で、当時の歌舞伎役者の声を次のように伝えている。

サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

歌舞伎は武士道への反逆

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

(一九四七年の) 冬の間私は東京にいたが、歌舞伎をたびたび訪れ、役者達やその家族の人々と親しくなるようになった。：：これは一つには私が彼等と近附きになる時の仲介者になってくれたファウビオンに対する義理からであった。

サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

歌舞伎は武士道への反逆

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

(中村) 吉右衛門が大真面目で語ったところによると「(ファウビオンは)外国の統治下にあるために、又今日日本が名状しがたい苦境にあるために、ひょっとしたら滅びてしまったかも知れない歌舞伎を救ってくれた大恩人」なのである。

サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

歌舞伎は武士道への反逆

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

(GHQの歌舞伎の禁演措置について中村吉右衛門は言った)

「日本の歴史と歌舞伎の歴史、芝居の脚本を彼等によく知っていてもらいたい。そして芝居を見る日本人の心を理解しなくてはいけない。」



初代中村吉右衛門(1886-1954)

歌舞伎は武士道への反逆

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

「検閲する人達はみな知っているんでしょかね……これらの芝居は**武士道への反逆**なんです。歌舞伎の中には何時もさむらいに対する反抗の叫びがある。これらの芝居はさむらいを敵にしていた町人によって書かれたものですからね」



初代中村吉右衛門(1886-1954)

歌舞伎は武士道への反逆

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

「(戦争前、日本の)政府は、脚本を削除したり、芝居を抑圧したりして歌舞伎を自分達の武器にやき直そうとしました。今また貴方方が、昔は敵だといっていた政府と同じようなことをしていらっしゃる」



初代中村吉右衛門(1886-1954)

戦時下の検閲と改変

〔解説〕

戦時中の一九四四年二月、内務省は「興行等取締規則」を發布し、「演劇は本令に依る検閲に合格したる脚本に依るに非ざれば之を上演するを得ず」（第二七条）と定めた。

これにより「寺子屋」の台本も次のように改められた。

「せまじきものは宮仕え」

「お宮仕えはここじゃわやい」



小太郎と源蔵

第三節

歌舞伎を守るために



歌舞伎に対して、当時の日本の演劇人はどのような態度をとっていたのか？

日本の演劇人の反応

〔解説〕

千田是也（一九〇四〜九四）は、新劇界をリードした俳優・演出家。本名は伊藤罔夫。

関東大震災の時、自宅近くの千駄ヶ谷で自警団に在日コリアンと間違われ、暴行を受けたことから、千田是也（千駄ヶ谷のコリアン）を芸名にしたという。



歌舞伎は「邪道の見世物」

「歌舞伎との対決」(芸術新潮一九五一年七月)

歌舞伎を伝承芸術として、世界に
珍しい骨董品として行末ながく保存
することには、僕はちっとも異議は
ありませんよ。ただそれをシェーク
スピアやモリエールの芝居と同じよ
うな意味で、日本の古典と見做すこ
と……に反対なんです。



歌舞伎は「邪道の見世物」

「歌舞伎との対決」(芸術新潮一九五一年七月)

歌舞伎というものは、世界の演劇文化の中心から、ひどく離れた片田舎に仇花を咲かせた下手物芝居、日本の鎖国的封建制の長い圧迫の下で非常に畸形的な発達を遂げた邪道の見世物なんだ。むしろ演劇病理学の対象にしかならぬもの：：博物館にでも並べて置けばよいものですよ。



Q

バワーズは歌舞伎をどのように評価していたのか？

惜しむ自殺措置

「歌舞伎の現状をバワーズ少佐に聴く」

(東京新聞一九四六年二月二三日)

「いま私は、マ総司令部のスポークスマンとしてではなく、単なる歌舞伎の一愛好者として意見を述べているので、これは総司令部の政策を代弁している意見ではない。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

惜しむ自殺措置

「歌舞伎の現状をバワーズ少佐に聴く」

（東京新聞一九四六年二月二三日）

「戦前、日本を訪問した時、私は歌舞伎に強く魅せられたので、十三日間の滞在予定期間を一年に延ばしたほどである。だから新聞で、時代物、世話物、黙阿弥の作品等が、二月一日から上演取止めになることを知って驚いた。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

惜しむ自殺措置

「歌舞伎の現状をバワーズ少佐に聴く」

(東京新聞一九四六年二月二三日)

「米国は民主主義国でありながら、封建的な君主たちを材料にしているシェークスピアの諸作品を依然として上演している。またワグナアの劇を、ナチスの指導者たちがその神話とイデオロギーを靈感の源泉としたと主張したにも拘らず、いまなお上演されている。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

惜しむ自殺措置

「歌舞伎の現状をバワーズ少佐に聴く」

(東京新聞一九四六年二月二三日)

「芸術はあくまで芸術である。歌舞伎の偉大性は、政治的、封建的傾向を遥かに超えるものである。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

惜しむ自殺措置

「歌舞伎の現状をバワーズ少佐に聴く」

(東京新聞一九四六年二月二三日)

「歌舞伎の美しさを説明するには多くの困難が伴う。自分はこれ迄いつも演劇には興味をひかれていたが、西欧では舞台は日常生活の反映であって、芸術的に昂められたものがない。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

惜しむ自殺措置

「歌舞伎の現状をバワーズ少佐に聴く」

(東京新聞一九四六年二月二三日)

「これに反し、歌舞伎は日常生活を超越し、しかも舞台の上で、ある芸術的な高みに達している。これが自分を歌舞伎にひきつけた理由でもある。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

惜しむ自殺措置

「歌舞伎の現状をバワーズ少佐に聴く」

(東京新聞一九四六年二月二三日)

「歌舞伎技術の要素は、その伝統に深く根差している。歌舞伎演技の困難な技術は、時代から時代へと伝えられ、絶えざる実演と練磨としての一般公開が要求されるのである。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せられ、法政大学で教鞭をとりながら一年あまり滞在
1945年	28歳	終戦後まもなく、進駐軍の通訳官として再来日。
		G H Q、歌舞伎の上演停止を指示（寺子屋事件）
1946年	29歳	G H Qの検閲機関であるC C D（民間検閲局）に転出
1947年	30歳	仮名手本忠臣蔵を解禁、歌舞伎の全面解禁に成功

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せられ、法政大学で教鞭をとりながら一年あまり滞在
1945年	28歳	終戦後まもなく、進駐軍の通訳官として再来日。
		G H Q、歌舞伎の上演停止を指示（寺子屋事件）
1946年	29歳	G H Qの検閲機関であるC C D（民間検閲局）に転出
1947年	30歳	仮名手本忠臣蔵を解禁、歌舞伎の全面解禁に成功
1948年	31歳	帰国。以後長年に渡り歌舞伎の研究と米国公演に尽力
1984年	67歳	その功績が評価され、日本政府から瑞宝章を授与される
1999年	82歳	ニューヨークの自宅で死去。



晩年のバワーズに取材した作家・岡本嗣郎氏(一九四六～)は、その著『歌舞伎を救った男』(集英社、一九九八年)の中で、バワーズの次のような言葉を紹介している。



岡本嗣郎(1946～)

歌舞伎は世界に誇る演劇

岡本嗣郎『歌舞伎を救った男』（三〇七頁）

バワーズは歌舞伎の芸術的価値は何か、という私の質問にこう答えた。「その質問は私にどうしてベートーヴェンは偉大かと聞くのと同じだ」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

歌舞伎は世界に誇る演劇

岡本嗣郎『歌舞伎を救った男』（三〇七頁）

「もし、あの戦争でイギリスが負けて、ドイツのヒトラーがロンドンに乗り込んで、シェークスピア劇を禁止するといったら、イギリスの国民はどう受け取っただろうか。そんなことは許されないし、許してはいけないことだ。」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

歌舞伎は世界に誇る演劇

岡本嗣郎『歌舞伎を救った男』（三〇七頁）

「歌舞伎の場合も問題はまったく同じだ。歌舞伎は世界に誇る演劇で、シェークスピアと同じ芸術的価値を持っている」



フォービアン・バワーズ
(Faubion Bowers 1917-1999)

フォービアン・バワーズ

(Faubion Bowers 1917-1999)

年	年齢	出来事
1917年	0歳	米国オクラホマ州に生まれる
1939年	22歳	コロンビア大学を経てジュリアード音楽院大学院卒業
1940年	23歳	アジアへの遊学途中に立ち寄った日本で歌舞伎に魅せられ、法政大学で教鞭をとりながら一年あまり滞在
1945年	28歳	終戦後まもなく、進駐軍の通訳官として再来日。
		G H Q、歌舞伎の上演停止を指示（寺子屋事件）
1946年	29歳	G H Qの検閲機関であるC C D（民間検閲局）に転出
1947年	30歳	仮名手本忠臣蔵を解禁、歌舞伎の全面解禁に成功
1948年	31歳	帰国。以後長年に渡り歌舞伎の研究と米国公演に尽力
1999年	82歳	ニューヨークの自宅で死去。
2008年		歌舞伎が世界無形文化遺産に登録される

第四節

異文化としての伝統芸能を学ぶ意義とは

芝居は民族の思想を知る近道

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

日本に来た目的はただ日本人をよく知ることだと思っていたのに、今までつきあった日本人はただホテルの部屋づきの女中だけだと、多少自暴自棄になって父に打ちあけ、どうしたらいいか尋ねてみた。



サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

芝居は民族の思想を知る近道

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

何時も変らぬ簡潔さで父はいった。
「どうだい、英語を教えてみたら。
……生徒たちはお前からあまり教えてもらえないで気の毒かも知らんが、かえって生徒達の方がお前に何かを教えてくれるだろう……それから芝居に行くこと。芝居は……民族の思想を知る最も近道なのだ。」



サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

芝居は民族の思想を知る近道

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

ある夜、私は父の勧めで芝居を見に行った。私が見た初めてのその芝居は、占領軍相手にたまに上演される特別興行だった。：：：その中には以前マッカーサー元帥の副官をしていたが、それをやめて日本の芝居の検閲主任になった米国の陸軍少佐、フォウビオン・バウアズの手になる、脚本の英訳もあった。

サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

芝居は民族の思想を知る近道

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

物語の筋は、義理と愛にはさまった果てしない葛藤や、又意外なことであるが、昔の日本の掟が日本人に強制した厳しさに対する激しい反逆など：：大層含みのある義理人情の一例で、私にとっては初めてのものであった。



サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

芝居は民族の思想を知る近道

サンタ・ラマ・ラウ『アジアの目覚め』

(原題 East of Home 一九五〇年、岩波新書)

語れば冗漫でメロドラマ的に聞こえるが、舞台の上では偉大な芸術のすべてがそうであるように、話の筋など全然問題にならないほどのすごい迫力と美しさを備えていた。
：：私は日本人がこんなに芝居のセンスがある民族だとは今まで考えてみことさえなかった。



サンタ・ラマ＝ラウ

(Santha Rama Rau 1923-2009)

伝統芸能の再評価

かつて歌舞伎を「邪道の見世物」と評した千田是也は、バワーズらの努力によって歌舞伎の国際的評価が高まると、自身の一面的な見方や欧米崇拜について次のような反省の言葉を述べている。



民族内部での評価を改める力

千田是也「日本演劇における東洋的なもの」
(東洋思想講座第三卷 至文堂 一九五八年)

私はこれまで主として西洋ふうの芝居——西洋ふうのドラマやそれに必要な演技・演出の仕方を勉強し、そういう芝居を日本に移し植える仕事をしてきた者で、そのせいか：：日本の従来の芝居に対する私の見方に、かなり一面的なところや、西洋かぶれのところがあるのはまぬかれまい。

千田是也 (1904-1994)



異文化としての芸能を

学ぶ意義とは？

では、異文化としての伝統芸能を学ぶ意義とは何なのであろうか。

それは、サンタ・ラマ||ラウの父親が語ったように「**民族の思想を知る一番の近道**」であるとともに、他者の視点から新たな価値を見出すことにより、民族内部で正当な評価を受けていない**伝統芸能の担い手たちに自信を与え、さらなる発展と継承を促す力になることであらう。**



バワーズと中村歌右衛門(1995年)

参考文献

- ・サンタ・ラマ・ラウ著・蛭山芳郎
訳『アジアの目覚め』（岩波新書、
一九五三年）
- ・岡本嗣郎『歌舞伎を救った男』
（集英社、一九九八年）
- ・浜野保樹「バワーズ伝説の検証」
（歌舞伎研究と批評四〇、二〇〇
八年）

法政大学能楽研究所創立 70 周年記念
HOSEI ミュージアム特別展

Museum Core

会場① 九段北校舎 1 階

|会期| 2022 年 9 月 1 日～2023 年 1 月 31 日

|開館時間| 10:00～17:00 (最終入場 16:30)

|休館日| 日曜・月曜・12/26～1/9, 1/14

但し 9/11・19, 10/2・10, 11/6 は開室

博物館展示室

会場② ボアソナード・タワー 1 4 階

|会期| 2022 年 9 月 1 日～9 月 30 日

|開館時間| 10:00～17:00

|休館日| 日曜・月曜。但し 9/11・19 は開室

Museum Satellite

会場③ ボアソナード・タワー 2 6 階

会場④ 外濠校舎 6 階

|会期| 2022 年 9 月 1 日～10 月 19 日

|開館時間| 10:00～17:00

|休館日| 日曜・月曜

但し 9/4・11・19, 10/2・3・10 は開室



危機と能楽

いかに受け止め
乗り越えてきたか

2022.09.01
▶ 2023.01.31

*会期は会場により異なります

法政大学 市ヶ谷キャンパス



【ワークショップ】能に親しむ

9月16日(金) 15:30～16:30

ボアソナード・タワー 2 6 階 スカイホール

矢来能楽堂からプロの能楽師をお招きします。

能面・能装束など、本物に触れながら

能を学んでみましょう。

入場無料
要申し込み

お申し込みと予約は、
法政大学ミュージアムウェブサイト



【シンポジウム】

9月19日(月・祝) 10:00～12:00

ボアソナード・タワー 2 6 階 スカイホール

10:00～「趣旨説明」山中玲子

10:05～「『危機』が能楽に何をもたらしたか」宮本圭造

10:40～「戦争・古典・芸能の 80 年」日置貴之

11:20～対談「コロナ禍の中の能楽」観世喜正・山中玲子

期末レポート

〔課題〕

伝統芸能は、コロナ禍の中で
どのような問題に直面してい
るのか。また、その問題を解
決し、伝統芸能を後世に伝え
ていくためにはどうすればよ
いか。

〔書式〕

A4 用紙横書き 二千字程度

〔メ切〕

二〇二三年一月十二日(木)

〔参考〕

野上記念法政大学能楽研究所
特別展「危機と能楽」

70th
NOH
KEN

法政大学能楽研究所
nihonken@ml.hosei.ac.jp
TEL 03-3264-9615

HX

HOSEI ミュージアム
HOSEI MUSEUM

museum@hosei.ac.jp
TEL 03-3264-6501

九段北校舎
HOSEIミュージアム

